

競技注意事項

1 本大会は、令和8年度日本陸上競技連盟競技規則、本大会規則及び監督会申し合わせ事項により行う。

2 招集について

(1) 競技者は招集完了時刻までに招集所に集合し、チェックを受ける。その後、役員の誘導に従い競技場に入場する。

(2) 招集時刻は次の招集時刻一覧表のとおりとする。

競技種目	招集開始時間	招集完了時間
トラック競技	競技開始30分前	競技開始20分前
フィールド競技	競技開始50分前	競技開始40分前
棒高跳	競技開始60分前	競技開始50分前

(3) 招集時刻に遅れた競技者は、棄権とみなして出場を認めない。

※投てき競技(砲丸投、ジャベリックスロー)は現地招集とする。

(4) リレーに出場するチームは、オーダー用紙を当該種目招集完了時刻1時間前までに競技者係に出すこと。なお、オーダー用紙は競技者係が監督会で配付する。

(5) 同時に2種目出場する競技者は、2種目同時届けを競技者係に提出する。

3 組み合わせ・走路・試技順

(1) レーン順・競技順は、主催者が決定しプログラムに記載する。

(2) トラック競技は、全てタイムレース決勝とする。

4 走高跳のバーの上げ方について

種別	練習	試技
男子	105cm	110cmから5cmきざみ160cmまで 以後3cmきざみ
女子	100cm	105cmから5cmきざみ140cmまで 以後3cmきざみ

※バーの上げ方は、天候等特別な状況が生じた場合、審判長の判断で変更することもある。

5 ハードル競技のインターバルについて

性別	種目距離	ハードルの高さ	インターバル			
			スタートから1台目	ハードル間	最終ハードルからゴール	ハードル台数
男子	110mH	91.4cm	13.72m	9.14m	14.02m	10台
	100mH	84.0cm	13.00m	8.50m	10.50m	10台
女子	100mH	76.2cm	13.00m	8.00m	15.00m	10台
	80mH	76.2cm	12.00m	7.50m	15.50m	8台

6 投てき種目の用具の重量について

男子の砲丸投は5kg、女子の砲丸投は2.721kgとする。

7 その他

(1) スパイクは全天候型トラック用のピンとし、9mm以下を使用すること。また、競技用靴の靴底の厚さについては、シューズに関する競技規則を適用する。

(2) 走高跳、棒高跳以外のフィールド競技の試技は全て3回とする。

(3) スターターのコールは英語(「オン・ユア・マークス」、「セット」)とし、一度の不正スタートでも責任を有する競技者は失格させられる。

(4) アスリートビブスは県中体連専門部より通知された番号を使用する。なお、トラックレース出場者は、大会本部から貸与される腰ナンバーを使用し、レース終了後直ちに返却すること。

(5) ウォーミングアップはクロキリスタジアム内雨天練習場及びアカキリフィールドバックストレートで行う。ただし、いずれのウォーミングアップ会場も器具を使用しないドリル等の動きづくりとする。なお、競技場内におけるスパイク流し等のアップは認めるが、競技に支障がないように注意して行う。また、クロスカントリーコースではジョグのみ認め、一般の利用者に迷惑がかからないよう十分に注意する。クロキリスタジアム軒下でのウォーミングアップは禁止する。

(6) 投てき練習は、アカキリフィールド内(試合会場)で行うこと。

(7) 本大会の結果に限り、追い風参考記録になっても、県中学秋季大会の標準記録を突破した場合には、その種目の出場資格を得ることができる。